

部会だより



安全・安心部

安全安心部としては、昨年に引き続き以下の内容で活動を進めていこうと考えています。

- ①夏期及び年末の防犯パトロールへの参加
- ②普通救命（AED）講習会開催
令和3年2月頃を予定しています
- ③減災プロジェクトの継承

- ・防災無線での地震に対する啓発活動
- ・「減災カルタ」の小中学校への寄贈（減災カルタの内容を一部修正しました）
- ・自主防災組織の活性化に向けての活動

また、昨年の万葉フェスタの折に非常食の試食会として塩おにぎりなどを来場の皆様に試食していただき好評でした。

本年度は新型コロナウイルスの影響でフェスタ開催が未定ですが、開催可能な場合には、同様の試食会を実施したいと考えています。

安全・安心部 部長 柴田 俊幸

歴史・文化部

去る6月18日、3名の新部員を迎え第1回の部会を開催し、今年度の事業の内容や開催時期について協議を行ったところ、次のとおりとなりました。

①市辺歴史発見塾

年2回の開催計画ですが、開催時期等は新型コロナの関係で状況判断を見極めながら開催いたします。なお、演題は「保内商人」と「琵琶説法」を予定しています。

②御代参街道を歩く

今年度は最終年に当たり、昨年と同日の11月23日（祝日）に「土山から日野駅」の行程です。詳細については「チラシ」（全戸配布）にてお知らせします。

③布施山城遺跡への登山道の整備への協力

東近江市が布施山の城跡に「布施山城遺跡」の看板等を設置し、文化財の保護の推進を図っておられます。そこで、地元団体が登り道を整備（急な斜面を階段にする）されていますので、部会としても協力し、地元の歴史・文化の推進を図ることとします。

④地蔵盆のビデオ制作

まずは、各町の地蔵盆の開催状況を把握することとします。今年度は新型コロナウイルスの感染の影響で先が読めない状況ですが、月1回の部会を開催して的確な状況判断に努め、事業を展開してまいりますので、皆様方のご協力の程よろしくお願いいたします。

歴史・文化部 部長 苗村 久男

自然・環境部

「子どもや孫たちの未来に美しく安全な地球を贈りたい。」今問題の地球温暖化防止の一策としてゴミ減量を。中でも水分が多く燃えにくい「生ゴミ」を減らすことは、CO₂を大きく削減できる。また、その生ゴミを善玉菌に分解させて堆肥として活用すれば、作物は病気にかからず美しくなる。その体験を皆さんに味わって頂こうと毎年、レタスとゴーヤの

苗配布を行っている。

ゴーヤが窓辺に育つと遮光、遮熱で冷房エネルギーの削減はもとより、部屋に美しい香りが漂う。また、実がなれば食用として使っていただける。一石二鳥にも三鳥にもなる有意義な活動を皆さんと共に今年度も楽しく続けたい。

また、今年万葉フェスタが開催されたら、船岡中学校の制服の譲り合いを行いたいと思っています。

自然・環境部 部長 小西 恵美子

健康・福祉部

健康・福祉部は「地域で支え合う健康と福祉のまちづくり」をモットーに活動を行っています。

①健康づくり実践の場、市辺グランドゴルフ大会

9月9日（水）予定・布施公園
市辺まち協、市辺地区社協、市辺コミセンと共催です。

②市辺地区ふれあいサロンの開催

12月2日（水）予定・市辺コミセン
市辺まち協、市辺地区社協、市辺コミセンと共催です。

③「ちょっときてえな講座」講師招いての講演会開催、2月予定。

④「よってみてカフェこぼし」へ協力、高齢者と障害者のふれあい等。

「ちょっときてえな講座」が前年度末の3月開催予定のところ、新型コロナ感染拡大のため中止いたしました。本年度計画につきましても、コロナ感染状況により、開催有無や変更があると思いますが、都度ご案内いたします。

健康・福祉部 部長 今井 肇

子ども健全育成部

子ども健全育成部の部長を務めさせて頂くことになりました森耀一と申します。

現在は新型コロナウイルスによる活動制限という経験した事のない状況にありますが、子どもたちが健やかに成長できるよう、皆さまのご指導をいただきながら頑張りたいと思いますので、1年間よろしくお願いいたします。

子ども健全育成部 部長 森 耀一

編集後記

暑いコーヒーはいつもおいしいが、夏に飲むのもいい。逆説的ながら暑い時には熱いものという言い方は昔からある。その後の爽快感につながるからだろう。

コロナとの共存を強いられる今年は、いつも以上に覚悟がいる夏になりそうだ。マスクは手放せず、冷房は必要だが窓を開けて換気するのも必要。それでも太陽は手加減をしてくれず35℃以上の猛暑日を記録するかも。熱中症にはご注意ください!! (HI)



万葉のまち 市辺

第52号

令和2年7月



「ゴーヤの苗」300本を配布
緑のカーテンで「省エネ」、環境を守ろう!



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-8392

Facebook



ホームページ



令和2年度市辺地区まちづくり協議会定期総会

令和2年度市辺地区まちづくり協議会定期総会は新型コロナウイルスの感染拡大の関係で書面表決の方法で採決決定されました。表決は下記の各議案について行われ、全議案賛成多数で可決決定されました。

なお、本号で紹介するのは「まちづくり部門」の概要です。

第1号議案	令和元年度事業報告(まちづくり部門)
第2号議案	令和元年度収支決算及び監査報告(まちづくり部門)
第3号議案	令和元年度事業報告(コミセン部門)
第4号議案	令和元年度収支決算及び監査報告(コミセン部門)
第5号議案	令和2年度役員を選出
第6号議案	令和2年度事業計画案(まちづくり部門)
第7号議案	令和2年収支予算案(まちづくり部門)
第8号議案	令和2年度事業計画案(コミセン部門)
第9号議案	令和2年度収支予算案(コミセン部門)

市辺地区まちづくり協議会 令和2年度役員

役職	氏名(敬称略)	
会長	須田 智廣	(まちづくり委員・4年目)
副会長	辻 義弘	(自治会連合会 代表)
〃	平尾 彌一	(社会福祉協議会長・4年目)
〃	柴田 俊幸	(まちづくり委員・2年目)
事務局長	高頭 勇次	(まちづくり委員・4年目)
業務主任者(館長)	木田 行男	(コミュニティセンター館長・4年目)
会計	福島 芳嗣	(まちづくり委員・2年目)
会計監事	安原 宗隆	(糠塚 自治会長)
〃	久保 重幸	(三津屋 自治会長)

(任期：自治連推薦は1期1年、その他は1期2年)

市辺地区まちづくり協議会「まちづくり部門」 令和2年度 収支予算

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
繰越金	283,740	事務費	457,000
交付金	1,470,000	会議費	55,000
助成金	27,000	広報部	150,000
雑収入	99,260	子ども健全部	20,000
合計	1,880,000	安全安心部	150,000
		歴史文化部	160,000
		自然環境部	360,000
		地域活力部	30,000
		健康福祉部	60,000
		負担金	268,000
		予備費	170,000
		合計	1,880,000



市辺地区まちづくり協議会「まちづくり部門」 令和2年度事業計画

- 役員・事務局
 - 市事業への積極参加
 - 14地区合同事業、研修会、交流会、フォーラム等
 - 協働事業の推進、人材の育成
 - コミセン・各種団体との共催事業の企画立案、地区減災・防災の取組研究
 - 事業資金の研究(各種補助金等)
 - 指定管理事業の充実

【まちづくり部会活動計画】

- 広報部会
 - 広報誌「万葉のまち市辺」No.51号～54号の発行各1350部
 - ホームページ管理
 - 勉強会
- 地域活力部会
 - ムラサキ栽培研究
 - 万葉フェスタへの参画
 - 地域ささえあい事業
- 子ども健全育成部会
 - 各種団体とのコラボ事業推進(テーマ:子どもたちの豊かな心を育む)
- 安全・安心部会
 - 地区安全パトロール(夏・年末)の参画
 - 普通救命講習(AED)の実施
 - 万葉フェスタへの参画
 - 減災活動連絡会事業
- 自然・環境部会
 - コンポスト普及事業「善玉菌で美しい地球を!」
 - まちづくり農園事業
 - ・さつま芋作り(小学生・園児とのふれあい)
 - ・大豆蒔種、豆腐作り
 - 環境学習(日帰り研修旅行)
 - 出前講座
 - ・ゴーヤ種蒔き、ゴーヤとサニーレタス苗配布
- 歴史・文化部会
 - 市辺れきし発見塾(歴史セミナー)
 - DVD作成と完成お披露目会
 - 御代参街道を歩く
 - 布施山城遺跡への山道整備
- 健康・福祉部会
 - 健康
 - ①健康づくり実践の場(市辺グランドゴルフ大会等)
 - ②健康に関する情報発信
 - 福祉・主に地区社協とのコラボ、地域ささえあい事業。
 - ①市辺地区ふれあいサロン
 - ②ちょっときてえな講座
 - ③高齢者・障がい者ふれあい交流
 - ④船岡中学校生徒会(懇談会)

自治連、社協、各種団体との連携で!

こんにちは
日頃は、市辺地区まちづくり協議会の諸活動に対しましてご支援ご協力誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、日常生活が“自粛”を余儀なくされましたが、緊急事態宣言が全面解除され、徐々に“日常”に戻りつつあります。

本年はまち協総会が開催できず、資料の説明ができなかったことは残念ですが、令和2年度の活動がようやくスタートしました。例年の各専門部の事業のほかに、主な活動として、減災カルタを増刷して市内小学校に配布します。防災学習に役立てていただければ幸いです。また、これまで検討してきました防災拠点づくり・総合エリア研究会について、計画をまとめて市へ要望したいと思います。

また、地域福祉(地域支えあい事業)の活動をまち協におきましても取り組みたいと思います。地域で支えあって笑顔をつなげていけるそのような活動ができればと考えています。地区社協とも連携して検討してまいります。

これらいずれの取り組みもまち協単独では困難であり、市辺地区自治会連合会をはじめ地区社協並びに各種団体の皆様との連携を一層深めながらすすめてまいりたいと考えています。

引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



市辺地区まちづくり協議会
会長 須田 智廣

今だからこそ”つながり”を

梅雨前線が日本列島から去って夏本番を迎える時期となります。今年も色鮮やかだった紫陽花に感謝です。紫陽花はさまざまな色があることや、また咲いた時からずっと同じ色ではなく根っこから吸い上げる養分によって咲いている間にも色が変ることから「移り気・浮気・変節」という花言葉がある一方で、「家族・団らん」などの花言葉もあります。サークル活動を紹介する書物の表紙デザインなどに紫陽花がよく使われています。これは小さな花が集まって大きな花として咲いているように見えることから、一人ひとりの役割りが大切である事を伝えているのだと思います。

ここコミセンでは年間に述べ1万人を超える方々に利用して頂いていますが、年度初めからコミセン事業の中止やサークル活動の自粛をお願いしてきました。6月から貸館を全面的に再開しましたがコロナウイルス感染予防の新しい生活様式を取り入れていく事を求められています。人との接触を減らさなければならぬ今だからこそ人との“つながり”を深めることが大切になります。地区住民の皆様が紫陽花の花言葉(後者)のようにお一人おひとりの思いやりで“つながり”の花が咲くお手伝いさせて頂ければと考えています。

ウイルス感染予防のワクチンや特効薬が開発されてコロナの恐怖から解放される日が一日も早く来ることを願っています。



市辺コミュニティセンター
館長 木田 行男

ムラサキの苗育つ 船岡山公園に植栽

地域活力部

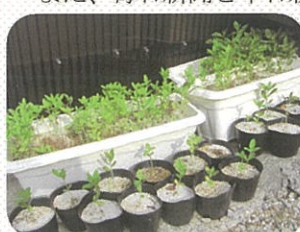
毎日新聞・中日新聞にも紹介される

今年は暖冬のため例年より10日早く種を蒔き4月上旬にほとんど発芽しました。ところが4月は例年より気温が低く生育が大変遅くなり、万葉の森船岡山公園での植栽は6月6日に実施しました。昨年の秋から暮れに準備していた場所に有志4名で20本を植え、植えた場所が判りにくくので手製の案内看板を7本立てました。植栽直後の数日間は、晴天続きのため毎日水やりをしました。

本年は多くの苗ができたので「市辺だより」に、掲載し希望者に苗の配布を期間限定でさせて頂き、市辺地区で14名の方から申込みを受けました。

また、毎日新聞と中日新聞の取材を受け滋賀版やびわこ版に掲載され大きな反響を呼び、遠くでは大津市や余呉(長浜市)等から合計21名(市辺地区を除く滋賀県全域)がムラサキの苗を引き取りに来られました。

地域活力部部長 森島 安夫



ゴーヤで緑のカーテンを! 65人の方に苗300本配布

自然・環境部

5月30日、今年も、自然・環境部による「ゴーヤの苗配布」が前山公園(布引台)と市辺コミセンで行われました。

この日は、早朝から部員16人が苗、プランタン、培養土、コンポストで作られた自然の堆肥などの準備をされました。

午後から市辺コミセン前で苗配布が行われ、2カ所で65人のみなさんに、300本の苗が配布されました。会場に来られた皆さんは、育て方のアドバイスやゴーヤ料理の話など賑やかに交流されました。

今年も猛暑になりそうですが、町内の多くの庭に緑のカーテンが育つことになりそうです。ゴーヤを育てる意義や苗づくりのご苦労などは「部会だより」に紹介されていますが、小西部長は「部員の快い協力で続けられる」と言っておられました。(広報部)

